

一般社団法人日本テレワーク学会
第 27 回研究発表大会（横浜大会・八洲学園大学）
全体プログラム

※大会テーマ キャリア形成から読み解くテレワークの新時代
～教育活動と人材育成の構造的変化を探求する～

大会開催記念シンポジウム

■ 期日：9 月 6 日（土）午後 14:00～17:00（受付開始13時30分から）

■ 会場：八洲学園大学 本館 〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町7丁目42番地

時間	テーマ・講師
14:00～14:10 開催ご挨拶	開催ご挨拶 市川宏雄 一般社団法人 日本テレワーク学会 会長・大会委員長 中村 仁 シンポジウムモデレータ 大会実行委員長・跡見学園女子大学 教授
14:10～14:40 記念講演	テーマ：テレワーク時代におけるキャリア形成とオンライン教育の役割 ～双方向オンライン教育が育む人材と八洲学園大学の挑戦～ 講師：水戸部優子氏（八洲学園大学 学長）
14:45～15:15 特別講演	テーマ：テレワークの可能性～各国の課題と政策的取り組み 講師：中村かおり氏 （国際労働機関(ILO) 事務局長補兼アジア太平洋地域総局長）
15:15～15:30	<休憩時間15 分>
15:30～16:50 パネル ディスカッション	テーマ：キャリア形成から読み解くテレワークの新時代 パネリスト：小豆川裕子氏（常葉大学 教授） パネリスト：中井 秀樹氏（大阪成蹊大学 准教授・当会理事） パネリスト：市川 宏雄氏（日本テレワーク学会会長・明治大学名誉教授） モデレーター：中村 仁 氏（大会実行委員長）
16:50～17:00	シンポジウムのまとめ

■ 9 月 6 日（土）午後 17:30～19:30

懇親会

17:30～ 19:30	横浜中華街 廣東飯店 神奈川県横浜市中区山下町144 ※参加費 会員・事前申込み 6,000円/一人 非会員・事前申込み 6,500円/一人 当日参加 7,000円/一人
-----------------	---



第 27 回日本テレワーク学会研究発表大会プログラム

キャリア形成から読み解くテレワークの新時代～教育活動と人材育成の構造的変化を探究する～

論文・報告発表

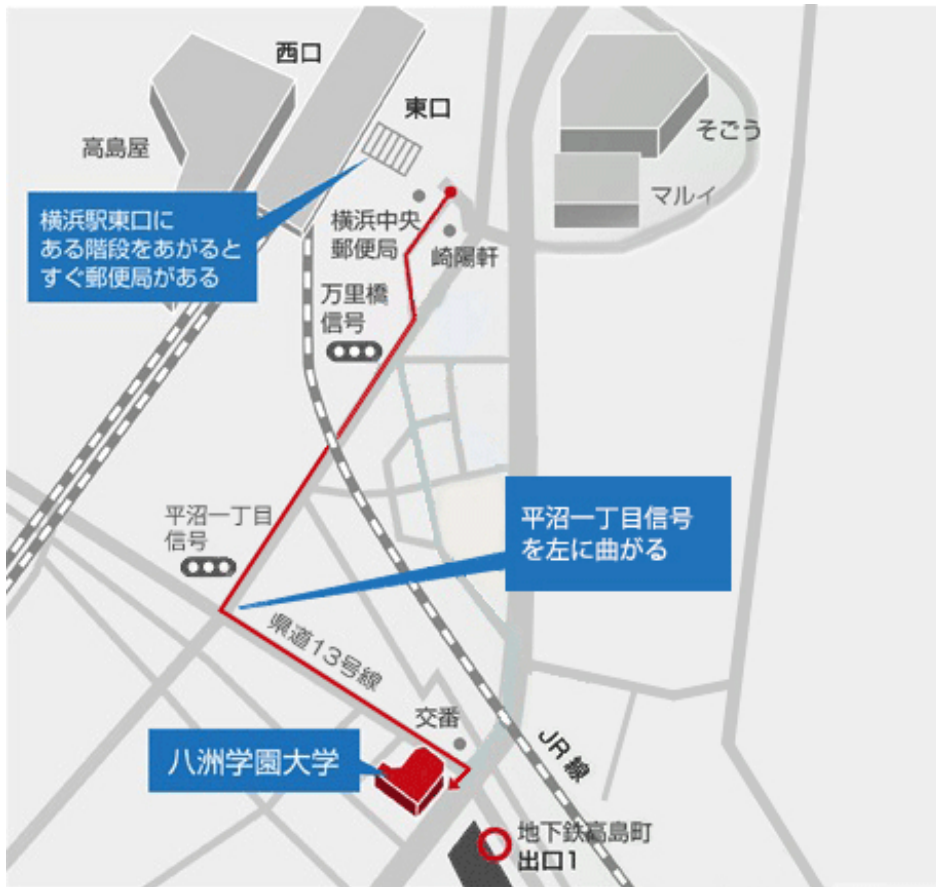
■ 9 月 7 日 (日) 午後13:25～16:30

■ 開催会場 八洲学園大学 本館 (受付 13 時から)

	セッション A 論文発表会場	セッション B 報告発表会場
13:25～ 13:30	はじめに ご挨拶 (A会場) 市川宏雄 (大会委員長 明治大学名誉教授) ●進行● 事務局	
13:30～ 14:00	論文●発表者● 中西穂高 (帝京大学) ●発表テーマ● テレワークの課題解決へのCoIモデルの活用 進行●眞崎昭彦 (眞崎リサーチラボ)	報告●発表者● 中村幸弘 (日本テレワーク協会) ●発表テーマ● 環境行動変容を支援する従業員教育と テレワーク推進による脱炭素効果の検証 進行●今泉千明 (テレワークコンサルタントオフィス)
	論文●発表者● 園 諸栄 (函館大学) ●発表テーマ● 函館市におけるリモートワーク環境としての コワーキングスペースの役割 進行●眞崎昭彦 (眞崎リサーチラボ)	報告●発表者● 田中 敦 (山梨大学) ●発表テーマ● 日本におけるデジタルノマド誘致の現状と課題 (仮) 進行●今泉千明 (テレワークコンサルタントオフィス)
14:30～ 15:00	論文●発表者● 定平 誠、木村淳一、増田直裕 (尚美学園大学) ●発表テーマ● X to Earnを活用した新たなテレワーク構築による 地域創生の実現 進行●野口邦夫 (社労士のぐちくにを事務所)	報告●発表者● 吉村克則 (埼玉大学大学院) ●発表テーマ● デジタルノマドを企業が認める理由 ～労働過程における統制と協業からの分析～ 進行●権丈英子 (亜細亜大学)
	論文●発表者● 辺見佳奈子 (大阪商業大学) ●発表テーマ● テレワークとリスクリングに関する研究(仮) 進行●野口邦夫 (社労士のぐちくにを事務所)	企画セッション・Talk session ●トークテーマ● キャリア形成から読み解くテレワークの新時代 ～教育活動と人材育成の構造的変化を探究する～ ●参加者● 中西穂高 (帝京大学 教授) 西山敏樹 (東京都市大学 教授) 渋谷一夫 (宮城大学 教授) 松村 茂 (東北芸術工科大学 教授) 中村 仁 (跡見学園女子大学 教授) MC ●フリーディスカッション●
15:30～ 16:00	論文●発表者● 田澤由利 (株式会社テレワークマネジメント) ●発表テーマ● バーチャルオフィスによるテレワークのコミュニケ ーション機会の創出 ～SIP実証実験に基づく実証的研究 進行●金丸利文 (沖電気工業株式会社)	
16:00～ 16:30	論文●発表者● 岩田一哲 (三重大大学) ●発表テーマ● ビジネス介護者における在宅勤務による介護ストレス の軽減とワーク・エンゲージメントの向上 進行●金丸利文 (沖電気工業株式会社)	
	16:30 おわりに ご挨拶 中村 仁 (大会実行委員長 跡見学園女子大学 教授) 注) 氏名・敬称略 プログラムは発表者または通信環境等の理由により変更になる場合がございます。	

大会会場のご案内
八洲学園大学 本館

- 開催期日** 9月6日(土)～7日(日)
■開催会場 八洲学園大学 本館
 〒220-0021 神奈川県横浜市西区桜木町7-42
 J横浜駅(東口)から徒歩10分
 横浜市営地下鉄「高島町」駅から徒歩1分
 横浜高速鉄道みなとみらい線「新高島」駅から徒歩5分
 京浜急行「戸部」駅から徒歩5分



■大会参加申込方法

下記の申し込みフォームにアクセスして、お申し込みください。

<https://forms.gle/HXnB9mh3G9KDa1sH7>

オプション企画

ビジネスエアポート渋谷 視察・交流会

(希望者のみ：人数把握のために要事前受付)

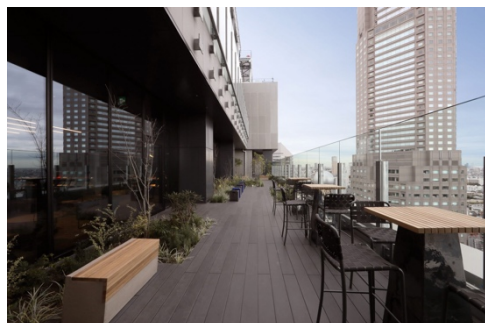
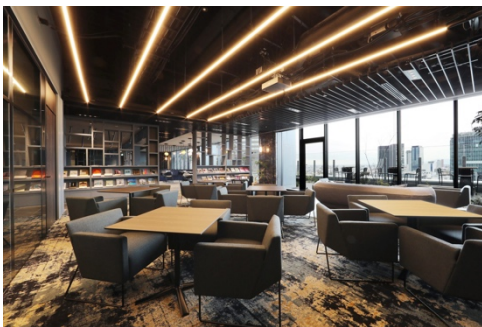
■ 9月7日(日) 10:00~12:00

■ 開催会場 「ビジネスエアポート渋谷フクラス」
 〒150-0043東京都渋谷区道玄坂1-2-3渋谷フクラス17F
 JR・東急・東京メトロ各線、京王井の頭線「渋谷」駅より徒歩1分



(参考) 渋谷駅 ～ 横浜駅 ～ 高島町駅 (大会会場)
 ● JR 湘南新宿ライン快速 ● 横浜市営地下鉄ブルーライン
 ● 東急東横線特急
 ● 所要時間 42分 (乗車時間29分)

(アテンド) 東急不動産 ご担当者様



キャリア形成から読み解くテレワークの新時代 ～教育活動と人材育成の構造的変化を探求する～

第 27 回日本テレワーク学会研究発表大会実行委員会
実行委員長 中村 仁（跡見学園女子大学）

新型コロナウイルス感染症の拡大は、労働環境全体に大きな変化をもたらし、とりわけテレワークの急速な普及を促進する契機となりました。この流れは人材育成の分野にも及び、オンライン会議システムやオンデマンド配信などを活用した教育手法が急速に導入・拡大されました。こうした状況の中、コロナ禍以前からディスタンスラーニングを実践していた通信制大学などの教育機関の取り組みが、先進事例として注目を集めたことは言うまでもありません。

さらに、テレワークの普及によって実現した柔軟な勤務体制は、単なる働き方の変化にとどまらず、これまでの非合理的な精神主義的慣習の見直しや、離職率の低下にも寄与しています。加えて、育児や介護、傷病など、ライフイベントに直面したビジネスパーソンにとって、長期的なキャリア形成を可能にする社会的インフラとしての役割も果たし始めています。

一方で、オンライン化には限界もあります。物理的な接点の減少によって、組織内の人的コミュニケーションが希薄化し、これまで自然に築かれていた縦横の人間関係や組織文化が失われつつあるとの指摘も出ています。

こうした変化を踏まえ、本大会では「人材育成とテレワークの関係性」に焦点を当て、その質的な転換と今後の可能性について多角的に探求してまいります。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

※ご不明の点は第27回大会実行委員会（下記メールアドレス）までお問い合わせください。
taikai@telework-gakkai.jp

■大会参加申込方法

下記の申し込みフォームにアクセスして、お申し込みください。

<https://forms.gle/HXnB9mh3G9KDa1sH7>